

広報ひがしの

No158

2018.12.1

人口1711人

(男)845人

(女)866人

世帯数

635世帯

(H30.11.1現在)

東野ふれあい音楽祭開催



第23回 東野ふれあい音楽祭

11月4日(日)

今年は、フォルクローレ(南米の音楽)の演奏グループ、チャスカとボリビアンダンスグループBBNによるコンサート。

思わず踊り出したくなるフォルクローレの音色とリズム、それに合わせて踊るBBNの華やかな踊りに来場された300名の聴衆の皆さんは引き込まれました。第1部の終わりに、BBNのメンバーに誘われた数名の児童がダンスに参加。曲が盛り上がると参加する児童の数がどんどん増え、ご覧の写真のように大盛り上がりでした。第2部では、東野小学校5・6年による合唱と合奏。小学生の皆さんは、練習時間が限られる中、心を一つにして、聴衆の心に響く歌と合奏を披露してくれました。また、日本郷土民謡協会の中村優佑さんの津軽三味線の演奏。馴染みのある郡上節ではお客さんから自然に手拍子が起こり、会場と演奏者が一体となる一時(ひととき)でした。

フィナーレではチャスカの演奏で童謡『小さい秋みつけた』を全員で合唱しました。聴衆と演奏者の心が一つになり、余韻を残しながら今年の音楽祭が終了しました。

ふれあい音楽祭も23回を数えました。今後もこれまで以上に充実した内容を企画し、来場された皆さんに十分楽しんで頂ける音楽祭にしたいと思います。
来年もご期待下さい。



スポーツの秋・文化の秋



東野住民ふれあい体育祭 10月21日（日）



企画や前日からの準備、運営に当たられた自治連合会、体育協会、開発振興会の皆さん、ご協力いただいた東野小学校の皆さんありがとうございました。



昨年度は中止となったふれあい体育祭でした。しかし、今年はこれ以上ないくらい快晴の下、第43回「ふれあい体育祭」が盛大に開催されました。天候に恵まれたこともあり、多くの住民の方が参加して下さいました。綱引きやムカデ競走等の熱戦が繰り広げられ、住民が一体となりました。終盤まで同点。最終競技の紅白リレーで勝敗が決まるといふ劇的な展開になりました。紅白リレー紅軍が勝利。劇的なフィナーレとなりました。



市長あいさつ

網引きやムカデ競走等の熱戦が繰り広げられ、住民が一体となりました。

た。天候に恵



運営委員長あいさつ

東野歌舞伎公演

10月28日（日）東野小学校体育館で、東野の伝統文化「歌舞伎」公演が行われました。東野の住民を初め、地域外からも多くの観客が集まり大盛況。「さあうたいましょう」の皆さんによる合唱、「三人吉三巴白波」



「青砥稿花紅彩画（こども歌舞伎）」「お目見得だんまり」「寿曾我対面工藤館の場」の熱演が披露されました。熱演に大きな拍手とおひねりが飛び交いました。みなさんお待ちかねの「お目見得だんまり」では、小学校の校長先生や先生、消防団長、こども園



観客から乱れ飛ぶ“おひねり”の雨

歌舞伎保存会の皆さまや役者の皆さんには、公演までの準備や歌舞伎の練習などお疲れ様でした。地域の伝統文化を守り継承していただきありがとうございます。

五平餅や味ごはんは舌鼓を打ちながら歌舞伎の鑑賞。芸術の秋の一日を満喫しました。



バザーを行いました

今年はコミセンの改修工事のため、例年のような文化祭は出来ませんでした。規模を縮小し、11月4日（日）バザーを実施しました。

前日から自治連の役員さん、各団体の代表の皆さんが、バザーと音楽祭の準備をしてくださいました。

当日もバザーと音楽祭担当に分かれ、仕事をしていただきました。毎年、シクラメンや五平餅、錦鯉の販売を楽しみにコミセンにお越し下さる方もいらっしゃいます。今年も早々に売り切れる商品がありました。



バザーの準備



鉢花の販売



音楽祭の準備



五平餅の販売



錦鯉の販売

「土砂災害警戒情報」とは？

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

土砂災害の前兆現象！



・川の水がにごり、水といっしょに倒れた木が流れてくる



・雨は降り続けているのに川の水が減る



・山鳴りがする
・風もないのに山の木がザワザワする
・木がさける音や木の根が切れる音がする
・地鳴りがする



・地面にひびわれができる



・がけにひびわれができる
・小石が斜面からぱらぱらと落ち出す

その他に

・異様なにおい(土臭い、ものの焼けるにおい、酸っぱいにおい等)がする

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常用持ち出しバッグの内容の例(人数分用意しましょう)

飲料水 調理不要の食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)

貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)

救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)・お薬手帳

ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手、懐中電灯、着替え(衣類・下着)

毛布(寝袋)、タオル、携帯ラジオ、コップ、予備電池、携帯電話の充電器

使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、洗面用具、携帯トイレ、紙おむつ、レジ袋

ライター、ロウソク、ナイフ、手袋、スリッパ その他個人が必要とするもの

※ 乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。



地域を知る・東野を知る

市民三学東野委員会

9月27日(木)に東野三学塾の研修として、地域の方26名が「谷汲山華厳寺・両界山横蔵寺・正法寺(岐阜大仏)・信長公居跡を訪ねる旅」に出掛けました。

旅館、飲食店、土産物屋が軒を連ねる参道散策を楽しみながら華厳寺を参拝。次に即身仏や多くの国指定重要文化財が祀られる横蔵寺を参拝しました。



岐阜大仏

岐阜市では、岐阜大仏や信長公居跡の見学と、東濃地方ではあまり馴染みのない県内の文化財を拝見し、有意義な一日となりました。今後、三学委員会では、皆様にも多く主体的な学びの場を提供していきたいと思ひます。



谷汲山華厳寺にて

10月17日(水)には市民三学委員や東野在住の方7名で、東野散策マップに記載されている花無山の西行歌碑、向島の阿弥陀堂、山本風穴跡、伝西行竹林庵跡を訪れました。どれも人里から離れた所にあり普段は目にすることはありませんが、東野の貴重な遺跡・遺産です。みなさんも運動を兼ねて身近にある貴重な文化財を見ながら東野をゆっくり回ってみませんか。「東野散策マップ」はコミュニケーションセンターにあります。ご希望の方はコミュニケーションまで来て頂ければ差し上げます。



新東野音頭

昭和21年に青年団が、東野村から東野音頭の歌と踊りを作り、昭和22年に発表されました。3、4年は踊り継がれましたが、歌と踊りが難しく、自然消滅の状態となりました。

昭和63年に音頭を復活させる動きが出て、誰でも参加できる東野音頭にしようと検討されました。平成7年6月、編曲された新東野音頭が完成し、振り付けも簡単にしたもののでき、住民が参加できる新東野音頭となり、今日まで受け継がれています。

歌詞には東野名所や歴史が織り込まれています。単語と簡単な歌詞の一部を紹介します。昔は保古ノ湖が全面結氷しスケートができたことやスケート場が開設されていたこと、東野の基幹産業として蚕種があったことなど往時を偲ぶことができる歌詞です。

キャンプ・ハイキング・保古が池・鶯池・山つづじ・ほととぎす・阿木の川瀬・鮎釣り・河鹿・保古川三里・栗・キノコ・小鳥鳥屋・スケート・銀盤上で競う自慢のはなれ業・山牛蒡・西行様も足もとどめた花無の麓・竹林庵・鮎・春の蚕の掃立頃・繭・お蚕種等



昭和40年前後の保古ノ湖のパネル

環境の雄大と壮快を誇る東海随一の天然リンク
保古ノ湖スケート場
特設リンク 25m×33.3m 1層 湖中リンク 25m×40m 2層
25m×33.3m 1層 湖中リンク 25m×40m 2層

スケート教室開設(無料教授)

●期 間 12月25日より2月末日まで
●場 所 有馬温泉 敷地
●参加料 大人 200円 小人 100円
●入場料 大人 100円 小人 50円
●入場券 1日2枚付 700円
●観覧券 1枚 200円
●備 考 観覧券はスケート場内の各所
東野村観光協会 東野村観光協会
〒501-0001 岐阜県東野村 中野日本新聞社・名古屋タイムズ社・東野村観光協会
東野村観光協会 TEL 057-221-1111 FAX 057-221-1112
東野村観光協会 E-MAIL info@hokonoko.co.jp

東野八社

広田神社

以前山の中腹にあったが坂を転げ落ちて川に浸かったものを拾い上げ、現地に祀りなおしたため、社名を「拾った神社、ヒロタ神社」というそうです。

明治年間に提出された『神社明細帳』にも、由来として「寛文11年9月創祀古老の口碑に字参宮沢に小社寛文11年9月洪水の節、山崩流失。字前山三川中に止まるを奉勧請。明治六年再興す。」とあります。

紙面の関係で、他社の紹介が出来ませんが、それぞれ祀られている神様が異なり、由来や建立年も異なります。何かの機会に地域の神社について調べて見るのもおもしろいと思います。

来年の正月に八社巡りはいかがですか？

東野は神社数の多いことが特徴だそうです。まだ村制がしかれていた時代でも一つの村で7つの神社をもっている事は少なかったようです。

東野に鎮座する七社は八坂・広田・白山・度会・鷲尾・若宮・貴船です。東野では、この七社に武並神社を加え、八社と呼び、八社巡りが行われることがありました。子どもが生まれた際の初宮参り、正月の初参り、大戦中の戦勝願として行われたもので、早朝に家を出発しほとんど半日がかりだったそうです。

貴船・若宮神社

元々は別の所にあった神社ですが、明治元年に、農作業に支障をきたすことを理由に若宮八幡宮が現在の地に合祀されたと言われています。

地域の話題・行事

東野敬老会 9月17日(祝・敬老の日)

開発振興会主催の敬老会が開催されました。80歳以上の方200名が対象です。

当日は、来賓を含み101名が参加されました。

来賓として小坂喬峰市長、水野正敏県議会議員、千藤安雄市議会議員が駆けつけて下さり、「100歳を目指して健康に」との祝辞をいただきました。

食後、余興として中村優佑(まさゆう)さんの三味線に合わせて気持ちよく木曾節や斎太郎節を歌ったり異国情緒あふれるベリーダンスに満喫したりしている様子。楽しい一時でした。

日本や東野の基盤を作り、発展を支えて頂いたみな様に感謝申しあげるとともにこれからも、元気で長生きして頂きたいと思ひます。



中村優佑さんの演奏

学校田の脱穀 10月3日(水)

運動会の翌日、先日稲刈りを終え『はぎがけ』をして乾燥させた稲の脱穀をしました。

講師の丸山文憲さんと千藤重明さんに脱穀の指導をして頂きました。現在は、稲刈りと同時に脱穀、そのままカントリーに搬送と稲の収穫を実感できる機会が少なくなっています。今回は、郷土資料館に収蔵されている『千歯こき』や『足踏み脱穀機』を使い4年生が脱穀をしました。思ったように



稲が落とせず何度もやり直し。四苦八苦しながら脱穀をしました。5年生はコンバインに運び、脱穀のお手伝いをしました。何でも機械がやってくれる現代ですが、少し昔の農業体験を通して、往時の稲作の苦勞を学ぶことが出来ました。



こども園で芋掘り 10月18日(水)

東雲会の皆さん6名と一緒に、初夏に植え付けたサツマイモの収穫をしました。葉がたくさん茂っていたので大収穫を予想した芋づるには、かわいい芋しかついていません。今夏の酷暑の影響もあったようです。しかし、園児たちは「よしよし!よいしょ!」とかけ声を出し、力いっぱい芋を引っ張りました。しかし、しっかりと根を張った芋に大苦戦。やっとの事で掘った芋に大満足の子どもたちでした。



よしよし!よいしょ!

ふれあいキッサ虹(社会福祉協議会東野支部)

10月11日(木)

ご好評頂いております、ふれあいキッサ虹はコミュニティセンターの改修工事のため、10月から来月2月までの間、会場を宗久寺に変更して開催しています。宗久寺様のご厚意により本堂を開放していただき、会場を変更して第1回目のふれあいキッサ虹を開催することが出来ました。

初めてのお寺での開催。コミュニティセンターと異なり、慣れないこともありましたが、虹の会の皆さんがキッサの準備を整え来場者を待ちました。

当日は曇り空で雨の心配もあり、たくさんの方に来ていただけたか心配でしたが、いつもの時間には会場は満席になり、コーヒーとお菓子で楽しい交流の場となりました。お寺での開催ですが、今までと同じ雰囲気で開催できました。これから毎月2回開催します。どんどん寒くなりますが、皆様、お誘い合わせてお出かけください。



本堂で受付



場所は違っても話題は尽きません

地域の話題・行事

市長と語る「まちづくり懇談会」9月21日（金）
午後7時より小坂市長がコミセンを訪れ、まちづくり懇談会が開催されました。



市長より恵那市の政策を「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4つの項目から具体的なデータを示しながら説明して頂きました。平成17年から人口が10%以上減少し、五万人を割り込んだこと、人口減少を食い止め、人口増加に転ずるためには「はたらく」場所の創設や企業誘致、魅力あるまちづくりが必要なることを具体的なデータを用い、簡潔に説明して頂きました。

最後に12月1・2日（土・日）に根ノ上高原等を会場として開催されるL1ラリーについて説明されました。恵那市の方向がいくつかのキーワードで理解できるよい機会でした。

寄稿
阿木川ダム湖畔のお店「ふれんどりー」では、5年ほど前から地域の野菜等の他に「五平餅」を販売しております。



今年はちよつと様子が違います、NHKの朝ドラ「半分青い」で五平餅が登場し、その効果で岩村の五平餅屋さんの前には行列が出来、大繁盛のようです。ここ「ふれんどりー」でも五平餅を食べてみたいお客さんが少し増えました。

ふれんどりーの五平餅は、東野のお米を使い、硬からず柔らかからず、自家製の「たれ」は甘からず、からからず、ゆっくり焼き上げます。食べ比べをした人からは、「これは美味しい」と絶賛。

時には2〜5人で1本・・・という注文もあります。スタンプラリーの効果でしょうか。

残念ながらまだお客さんに知られていないようで、今回この五平餅だけを全面にした広告看板を作成し、より多くの人に味わって頂きたいと、スタッフ一同お待ちしております。

ふれんどりースタッフ

みのりのみのり祭 9月23日（日）

東野からも「ふるさとじまん」に参加しました。毎年好評な東野の野菜、米の販売、ふれんどりーからは、くりおこわとあじごはんの販売をしました。また、東野の美味しい米を使ったポンはざしはポンはざしのポンという轟音があたりに響き、この音を聞きつけたお客さんが無料配布に長蛇の列。大好評のうちに終了。

朝積み込んだ新鮮な野菜も、「東野の野菜はおいしい」と評判。並べたとたん飛ぶように売れたキュウリ。野菜も米もすべて売り切って閉店。

早朝よりふるさとじまんのために集まってくれた下組自治会長さん、振興会の役員さんお疲れ様でした。



保古山城ケ峰神社祭礼 10月13日（土）

10月13日、保古山の城ケ峰神社で秋の祭礼が執り行われました。東野生産森林組合長、役員、来賓に丸山文憲開発振興会会長を始め10名がご出席。

東野村と茄子川村との山争いが決着し、山境が確定した記念として建立された神社で昔を偲び、東野の山を守り育てた先人の苦勞に感謝しながら祭礼は無事終了しました。



安心安全部会に表彰状



10月16日、岐阜県防犯協会から「自主パトロール隊として地域の安全活動を組織的に推進して犯罪の防止等に多大な貢献をした」として、防犯功労団体として表彰されました。安心安全部会は平成28年には恵那防犯組合連合会長・恵那警察署長より表彰されています。

文芸

花無山句会 平成30年9月27日

市川 芳子

下り梁早き流れにきらきらと
一株を掘りて衣被夕の膳

内木伊都子

目覚めよき朝のコーヒー秋うらら
鉛筆を削る音して夜の長し

松本はるか

秋海棠手折り小暗き一坊に
地蔵燈紅白萩の咲き乱れ

千藤 武司

野仏に寄り添い開く彼岸花
中天の明月かくす流れ雲

千藤 恵三

好まざる盗人萩も萩の花
柿たわわ伐らるる事を知らずま



秋海棠

半分…い

五平餅の名前を全国的に広めたあのドラマと言えば、もちろん『半分、青い。』です。地元恵那市がドラマの舞台だったため、「あの方言はおかしい。」「五平餅は出来たてが最高。冷ましたらあかん。」等とドラマを通して多くの人が楽しんで視聴しました。

この写真は、永野憲男さんが列車の通過に合わせて何度も撮影したうちの1枚です。鈴愛が飛び出して見えると大変好評でした。この写真を利用して丸山文憲さんが雀のオブジェを制作し、恵那山荘やこども園、小学校コミセンに飾られました。多くの人を楽しませ頂いた永野さん、丸山さん、ありがとうございました。



東野小学校・こども園運動会 10月2日(日)

スローガンは「燃え上がれ!! みんなの炎」

台風24号の影響で4日順延となりました。今年の夏は酷暑が続き、秋は雨天続きで例年以上に練習が大変だったと思います。しかし、夏休み前から一生懸命練習し、来賓や父兄の前で練習の成果を披露してくれました。

1・2年生は忍者体操、3・4年生は南中ソーラン、5・6年生は組み立て体操。ほほえましく、観衆からも温かい声援をかけられた、こども園の親子競技。

夏休みや放課後に頑張って練習していた声がコミセンまで聞こえてきました。

全員の心が一つになった応援合戦は競技と同じように子どもたちの真剣な気持ちが伝わってきました。スローガンに向かい心を一つにしてきたことがよく伝わってきました。

6年生にとっては最後の運動会。東野小学校で全校のリーダーとして頑張ったことをいつまでも忘れないでほしいと思います。



白坂・豊受神宮祭典 11月23日(金・祝)

毎年11月23日は白坂・豊受神宮の祭典が執り行われます。今回は、白坂・豊受神宮の祭典について短く紹介します。

東野では1戸あたりの耕地は少なく、養蚕を行ったり、小作を行ったりしていました。現在の保古ノ湖あたりに与重小屋と呼ぶ草刈り場がありました。ここは雨が降るとたくさん水がたまり、いつもぐちゃぐちゃの土地でした。この付近で草刈りをする伊藤鎌吉氏は「ここを堰き止めればかなり大きな溜池ができ、この水を東野に引けば、白坂方面の開墾ができ、広い水田が拓ける。」と常々話していました。

この土地に阿木出身の県技師、可知貫一氏が着目し、東野村長に呼びかけました。当時の東野村は養蚕・蚕種の収入により比較的生活は安定していました。米の自給は30%しかありませんでしたが莫大な工事費を払う必要を感じる人は少なく、むしろ反対する者が多くいました。その中で、東野の将来を考えた人たちが家を一軒ずつまわり説得し、大正10年、保古ノ湖工事にこぎ着けました。同時に保古ノ湖用水導水路工事も始まり、大正14年によりやく保古ノ湖堰堤の大事工が完成し、用水路工事でも大正15年に完了しました。この工事により白坂の耕地は倍になりました。工事に使った金額は、総額32万円だったそうです。そのおかげで、東野の食糧事情は安定し生活を豊かにすることができました。戦争直後、青年団で開墾記念碑建立が話題となり、村内各戸より集めた浄財5万円余を基金として工事が始まり、台石は保古山の林間学校のあった場所から山中を木馬に乗せて曳き、碑石は蛭川村より木炭車に運んだものを、浜井場から木馬に乗せて青年団員が主となって曳き上げました。この作業に4ヶ月ほどかかり、ようやく昭和24年に記念碑を建立することができました。



開墾記念碑建立当時の青年団員
昭和24年11月3日(文化の日)撮影

工事や記念碑設立のいきさつについてかなり要約してまとめました。機会を見てもう少し詳しく紹介させて頂く予定です。

コミセン工事が始まりました

昭和54年に開館して以来多くの皆さんに利用していただいたコミセンは、初めての長期休館をしています。コミセンの周りには足場が組まれ、工事が始まりました。休館中はいろいろとご不便をおかけしますが、趣旨をご理解頂きますようお願いいたします。



12月～3月の予定

- 12月4日(火) 第4回自治会長会議
- 29日(土)～1月3日(木) コミセン・振興事務所
年末・年始休業日
- 2月の土曜日 コミセン大規模改修工事完成お披露目の会
お披露目の会の当日と翌日(土・日)
文化サークル発表会
- 3月上旬 第5回自治会長会議
- 8日(金) 小学校記念植樹
- 25日(月) 小学校卒業証書授与式
- 27日(水) こども園卒園式



乳幼児学級 すくすくクラブ

九月に予定していましたが岩村への遠足はあいにくの雨のため急遽内容を変更し、コミュニティセンターで絵本を作りました。明知鉄道を使ってみんなで遠足に行けなかったのは残念でしたが、お母さん、お子さんの力作の絵本が出来上がりました！ぜひ、数年後に見返していただける、お子さんの成長が感じられると思います♪



十月は天候にも恵まれ、コミュニティセンターから宗久寺まで散歩に出かけました。横断歩道や踏切を渡る時は親子でちゃんと左右を確認し、上手に安全に渡ることができました！散歩中に車両で通行された地域の皆様には、お子さんたちに配慮していただきありがとうございます。十二月には待ちに待った合同クリスマス会があります！もしかしたらサントさんが来てくれるかもしれません。楽しみにしていきましょう♪

♪すくすくクラブ学級生募集しています♪

乳幼児学級（乳幼児期の家庭教育学級）とは

保護者の学び場、保護者同士の交流、親子の交流を図る場です。ご家族の活動を主体とし、コミュニティセンターや社会教育指導員が支援します。

途中から、途中まで、1回のみ、時々になるけど…など、参加の形態は自由です。ご興味のある方、参加してみたいという方は東野コミュニティセンターまでご連絡ください！

（※参加費無料。活動によっては実費負担）

（お問い合わせ先：東野コミュニティセンター 担当：林）

今年度の予定

12/14（金）	合同クリスマス会
1/24（木）	食育
2/28（木）	座談会
3/28（木）	閉級式

発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五
東野地域自治区運営委員会 ☎二六―二二四四

編集後記

「少にして学べば、則ち壮にして為すことあり 壮にして学べば、則ち老いて衰えず 老いて学べば、則ち死して朽ちず」は、岩村町出身の儒学者、佐藤一斎（いっさい）先生の言葉です。この言葉を受けて恵那市では三学の町と謳（うた）っています。

この一年、東野の歴史や偉人、昔話等を読んでいます。学べば学ぶほど、次から次に疑問が湧いてきます。学校では習わなかった地域の歴史を調べる事の楽しさを味わっています。学校で学ぶ期間はわずか十数年です。就職して学ぶこともたくさんありますが、「学ばなければならない」ことです。義務から解放され、進んで学ぶ、興味のままに学べることは幸せな事だと思っています。

12月号でも東野の歴史を掲載しました。一人でも多くの方が郷土東野に興味をもって頂けたら幸いです。

（杉）

コミュニティセンター・振興事務所

年末・年始休業日のお知らせ

振興事務所

12月29日（土）～ 1月3日（木）

コミセン

12月29日（土）～ 1月7日（月）

* 葬儀の関係で告知放送が必要な場合は、市役所で死亡届を提出されるときに、告知放送を依頼したい旨申し出てください。振興事務所職員に連絡が入りますので、対応します。

